

大阪府

大阪星光学院中学校・高等学校

OSAKA SEIKO GAKUIN JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

設計・施工：清水建設（株）

1人ひとりの資質をじっくり育む教育を サステイナブルな施設環境で実現。

創立60年の歴史をもつカトリック系の男子校は、心身共に成長する時期の生徒に応じたきめ細かい指導と、キリスト教精神を根底に置いた真の人間教育を重視している。中高6年間の一貫教育では、ゆとりあるカリキュラムにより徹底した学習を行う一方で、合宿や野外活動を通して充実した人間関係も養う。

2008年12月に竣工した新校舎は、仮設校舎利用を最小にするために既存校舎も利用され、2期にわたる建替計画で進められた。都市にありながら緑豊かな環境に建つため、建替建物を既存建物と同じ場所に配置し周辺環境に配慮している。「永く人々に愛され、長持ちし健康であり続ける建物」をテーマに、100年コンクリートの採用や工法など、最小のメンテナンスで長持ちするよう工夫された。庇や窓構成により、通風や採光などに自然エネルギー活用を積極的に取り入れている。外壁には風合いのあるせっき質タイルを、屋根には銅板を用いて、風格のある佇まいと男子校として落ち着いた力強い外観をつくりだしている。



外観



エントランス



聖堂



食堂／テーブル：DT-P、イス：アイバッグ 236席

無垢のフローリングと木壁による構成や、木製のテーブルとイスの採用により、落ち着きと暖かみのある空間としている。

明快なゾーニングによる 使いやすい構成

中学・高校・管理・メディアなどの各ゾーンを、1階のキャンパスプラザを中心に明快にゾーニングしたL字型の構成により使いやすさを追求している。中学と高校は独立しながらも、共用できる施設は統合し、効率の高い施設計画としている。体育館や武道場などの体育ゾーンは上階の5・6階に設置され、架橋・スラブ・防振材の検討など防振・防音に十分な配慮をしている。また、体育館は様々な行事に活用できるように講堂を兼ね、移動観覧席を採用している。



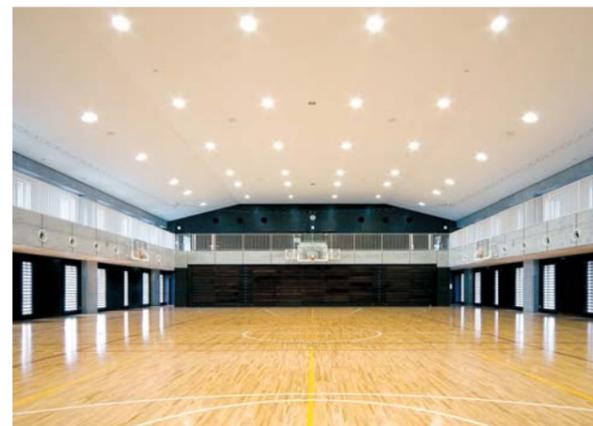
大教室 / デスク:SCM-300、イス:アイバッグ 384席
入試や父兄会、特別授業など、多目的に利用されることが想定され、可動間仕切りや音響設備が用意されている。



教室 / デスク:SCM-300、イス:アイバッグ (中学校・1学年4クラス、高等学校・1学年5クラス)



体育館 / 移動観覧席「テレスコープスタンド」:AHP-A8204-23PTA 336席、専用スタッキングチェア(メモ台付)



移動観覧席収納状態



観覧席と同意匠のスタッキングチェア。メモ台付で、スタッキングが可能(専用台車に7脚積載)。スタック時はメモ台を取り外して収納する。



体育館 / 電動折りたたみステージ「アイスステージ」:WF-144-446C (W14400・D4400・H600mm)